

2019年3月15日

関西学院評価推進委員会
委員長 田淵 結
(関西学院 院長)

2018年度関西学院大学自己点検・評価結果について

関西学院大学の2018年度大学自己点検・評価結果を公表いたします。

2018年2月に公表した「Kwansei Grand Challenge 2039」の長期戦略に示したとおり、2019年度以降、大学自己点検・評価と中期計画のP D C Aサイクルを統合します。

両者はそれぞれの目的体系を持ちながら重複する部分が多く、業務負担軽減の観点からも、共通の目的・目標の下で学院・大学全体を見渡した統合的なP D C Aサイクルの確立が必須となっていました。

このため、学院は二つのP D C Aサイクルの統合とともに財政・人事・施設建設など経営資源に関する計画も組み込んだ「中期総合経営計画」を策定することで、効率的・効果的なマネジメントの実現を図ります。大学は学部・研究科単位での三つのポリシーに基づく教学マネジメントを包含した大学全体のP D C Aサイクルの質を高めることにより、第3期認証評価（本学は2020年度受審予定）でも重要視されている「内部質保証」を確立します。

2018年度は具体的には、中期総合経営計画で計画の統轄・担当を担う機構・センター等大学執行部の部署は、従来の自己点検・評価は実施せず、これまでの自己点検・評価の総括も含めて2019年度からスタートする中期総合経営計画の実施計画を策定しました。実施計画の策定にあたっては従来の大学自己点検・評価で見えてきた本学の課題等を踏まえた検討を進めることとし、従来の自己点検・評価の「検証・評価」も内包した取り組みとしました。

学部・研究科も2019年度以降に中期総合経営計画の実施計画に関して計画の策定が必要になることから、2018年度の自己点検・評価では、これまで取り組んできた理念・目的、目標、各方針等の適切性の検証（A票）や目標達成に向けた進捗評価（C票）だけでなく、各学部・研究科での課題の抽出等も併せて行うことを狙いとしました。

学部・研究科においては、2018年度自己点検・評価の取り組みを2019年度の実施計画策定の準備期間と捉えて、2018年3月に公表された長期戦略を参照しつつ各部署の今後の在り方や方向性を含めて検討してもらいました。

なお、報告書（シート類）をご覧いただき、お気づきの点等ございましたら事務局までご意見をお寄せください。

以上

自己評価事務局：関西学院評価情報分析室
(総合企画部 評価情報分析・認可申請担当)
jikohyouka@kwansei.ac.jp